



令和5年度

志和池小だより

くすのき



第8号

令和6年1月29日
郡城市立志和池小学校

とったとー！

【2年生 大根の収穫】



1月12日(金)、2年生は大根の収穫をしました。子どもたちは、自分の名札がたっているところを探りながら喜んでいきます。大きいのが採れたと喜んでいいる子もいれば、以外に小さく残念がる子どもも…。小さかったのは間引きができていなかったからかな。大根を家に持って帰って、調理して食べた家庭も多かったようです。一人の日記を紹介します。

学校での大こんほり

金曜日に学校で、大こんほりをしました。めが出たのが10月29日でした。ほってみたら、大きな大こんが2本とれました。すごくせいちょうしたんだな、と思いました。家にもってかえってお母さんに見せたら、「大きな大こんだね。」と言ってくれました。

おでんにしてかぞくで食べたら、お母さんとお姉ちゃんが「おいしい。」と言ってくれてとてもうれしかったです。大きく大こんがそだってうれしかったです。

※ きっと、格別なおいしさだったのでしょうね。

つながる支援

【能登半島地震支援募金】



1月23日(火)～26日(金)に、児童の運営委員会の企画により、能登半島地震支援募金を登校時に行いました。これは3年生の一人の男子児童の言葉をきっかけに始まりました。先週、職員室に「相談があります。」と来るなり、「地震の募金をしませんか。」と。家でおじいちゃんから「募金すればいいのに」と言われたからだそうです。家庭でしっかり話し合っていること、それをもとに判断し実践しようとしていることがうれしいです。早速、児童会の運営委員会で話し合い、急遽募金活動を始めることとなりました。

中には、「ぼくは自分のおこづかいの中から募金しました。」という子もいました。社会で起こっている問題を自分事として考える児童が育っていることをうれしく思いました。被災された方々に一日も早い日常生活が戻ることを願わずにはられません。

まちの福祉について学ぶ

【3年 盲導犬との交流をとおして】



1月23日(火)、3年生は盲導犬ユーザーのお二人(延岡の後藤さん、山田の福田さん)をお招きし、盲導犬のことや、視覚障がい者の生活等について話を聞いたり体験活動を行ったりしました。体験活動では、アイマスクをした状態で白杖歩行をしたりガイドヘルパー体験をしたりしました。子どもたちの感想を見ると、盲導犬が最初に人になれる訓練をしてから手助けをしていること、盲導犬は人の言葉が通じること、障害物を盲導犬が上手によけて歩くことに驚きがあったようです。また、こんな感想がありました。

わたしは、はくじょう歩行をたいけんさせてもらいました。わたしは、短いきよりなのに目が見えないととても長いきよりに思えました。目が見えないとこわいし、ふ安なのがありました。

気付きや学びの多い学習となったようです。

登校中、交差点や学校の前に立っていると、保護者の方々、地域の方々が、よく車の中からおじぎをしてくださいます。子どもたちがあいさつがいいのは、こういうことに起因しているのでしょう。ありがたく思うと同時に、気持ちよく1日がスタートします。ありがとうございます。